

どうする？

これからの公共施設

芦別市公共施設等 総合管理計画を策定しました



施設の更新・統廃合・長寿命化など計画的に行い、最適に配置

高度経済成長期とその後のバブル経済期に整備された多くの公共施設や道路・上下水道などのインフラが、近年大量に更新期を迎え、全国的に公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。

地方公共団体の厳しい財政状況が続く中、今後人口減少・少子高齢化がさらに進み、公共施設等の利用需要も変化することが見込まれることから、公共施設等の全体を把握し、長期的視点に立つて更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政負担の軽減・平準化と公共施設等を最適に配置していくことが求められています。

このため、本市の公共施設等について現状を把握し、将来を見据えた総合的かつ計画的な管理のための基本的な指針として、平成28年度から40年間の計画期間とする「芦別市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」

という）を今年3月に策定しました。

本市の財政状況や今後の人口減少を見通すと、現状の公共施設等の全てを将来にわたって維持していくことは困難と考えられます。そこで、市民生活や産業振興、防災上の観点などから必要な公共施設等を維持しつつも、公共施設等の総量の縮小や適切な保全による延命化などにより、維持管理や更新に係る財政負担を軽減していく必要があります。

第1期アクションプランを策定します

こうしたことから、総合管理計画では、個々の公共施設等について中長期にわたる具体的な方向性を示す実行計画として、アクションプランを策定することとしており、今年度は平成28年度から10年間の取り組みを示す第1期アクションプランを策定することとしています。

今後、アクションプランの素案ができた段階で、市民の皆さんに概要をお示しし、ご意見をいただきたいと考えていますが、本市の公共施設等の現状や課題、今後の方向性を検討するための基本的な考え方など、総合管理計画の内容について、当分の間、広報あしべつに掲載します。 担当 財政係